

# 衆議院環境委員会ニュース

【第216回国会】令和6年12月19日（木）、第2回の委員会が開かれました。

## 1 環境の基本施策に関する件

- ・浅尾環境大臣、小林環境副大臣、東財務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。  
（質疑者）平口洋君（自民）、阿部知子君（立憲）、川原田英世君（立憲）、齋藤裕喜君（立憲）、空本誠喜君（維新）、仙田晃宏君（国民）、福重隆浩君（公明）、北野裕子君（参政）、竹上裕子君（保守）、中村はやと君（無）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 平口洋君（自民）

- （1） 気候変動対策
  - ア 国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）における議論の内容及び結果
  - イ 温室効果ガス削減目標について、政府において検討中の次期NDC（国が決定する貢献）の算出に当たって考慮した事項
- （2） ALPS処理水海洋放出
  - ア 本年12月に実施されたIAEAによるALPS処理水の海洋放出に関する安全性レビューミッションの意見交換におけるIAEAからの指摘事項
  - イ 日本産水産物の輸入規制緩和に係る中国の今後の対応の見通し
  - ウ 国際社会における風評被害防止や理解促進のための取組
- （3） 瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく栄養塩類管理の進捗状況
- （4） プラスチック汚染対策に関する条約策定に向けた我が国の取組方針

### 阿部知子君（立憲）

- （1） 気候変動対策
  - ア 2035年の次期NDC策定に当たっての必要な取組及びこれまでの気候変動対策の検討の動向を踏まえた2月までの行程
  - イ 若い世代を含む多くの国民の意見を踏まえNDCを策定する必要性
  - ウ 環境問題が、大量のCO<sub>2</sub>が排出される戦争と不可分となっている現状に対する浅尾環境大臣の所感
- （2） PFAS（有機フッ素化合物）問題
  - ア 内閣府食品安全委員会が公表したPFASのリスク評価報告書における基準値が欧米と比較して緩いと指摘されていることについての同委員会の所見
  - イ 全国各地で暫定指針値を超過する事例が発生している状況に対する浅尾環境大臣の見解
  - ウ PFASの排水基準の設定の必要性
  - エ PFASの検出値が高いところをモデルとして血液検査を実証的・経年的に実施し健康状態も追跡する必要性に対する浅尾環境大臣の見解

### 川原田英世君（立憲）

- （1） 鳥獣保護管理法の改正
  - ア 今後の法改正のスケジュール
  - イ 市街地におけるクマ類の銃猟に係る責任の所在を明らかにする必要性についての浅尾環境大臣の見解

- ウ 現場で発砲の指示を出す警察官が責任を負うべきとの考えに対する警察庁の見解
- エ 銃猟に係る費用負担の増加についての環境省の認識
- オ 指定管理鳥獣対策事業に係る予算の確保についての財務省の見解
- カ 法改正のみでは改善されない多くの課題についての浅尾環境大臣の見解
- (2) 知床世界自然遺産地域内における携帯電話基地局整備事業
  - ア 当該事業に関し環境省から国連教育科学文化機関（UNESCO）の世界遺産センターへの事前の報告や相談の有無
  - イ 同センターに対する現在の手続状況
  - ウ 政府が同センターに回答した内容に関する公益財団法人日本自然保護協会への説明状況
  - エ 当該事業について関係者に事前説明すべきであったとの意見に対する浅尾環境大臣の見解
  - オ 当該事業の今後の見通し

#### 齋藤裕喜君（立憲）

- (1) 帰還困難区域における除染
  - ア 浅尾環境大臣が大臣就任後に福島県内で訪問した市町村
  - イ 帰還困難な状況が長期化していることについての浅尾環境大臣の受け止め
  - ウ 特定帰還居住区域における除染の推進と早期帰還の実現に向けた取組方針についての浅尾環境大臣の見解
- (2) 福島県及び近隣県における放射線の継続的なモニタリングの必要性
- (3) ALPS処理水の海洋放出に関する透明性の高い情報発信及び漁業者への説明に係る経済産業省の取組状況
- (4) 除去土壌等の福島県外最終処分の実現に向けたタイムスケジュールに関する浅尾環境大臣の認識
- (5) 次期NDC
  - ア 政府が提示した次期NDCである2013年度比60%削減目標を2019年比に換算した場合の削減率
  - イ 中央環境審議会及び産業構造審議会の2023年11月25日の合同会合における、一部委員に対する次期NDC政府案の事前配付の有無に関する情報開示についての浅尾環境大臣の見解

#### 空本誠喜君（維新）

- (1) PFAS問題
  - ア 環境省が定めたPFAS関連の基準の内容及び健康影響調査の在り方、血液検査の必要性についての浅尾環境大臣の認識
  - イ 広島県の米軍川上弾薬庫周辺から高濃度のPFASが検出された件に関する発生箇所の特定制及び住民への支援の在り方についての防衛省の見解
- (2) 高効率石炭火力発電
  - ア 高効率石炭火力発電に対する我が国の取組方針についての資源エネルギー庁の見解
  - イ 上記アに対する環境省のスタンス
- (3) 再生可能エネルギーに対する出力制御の必要性についての資源エネルギー庁の見解
- (4) 温室効果ガス削減効果が僅かであるなどの二国間クレジット制度（JCM）への批判的な見解に対する環境省の見解
- (5) 12月17日に示された第7次エネルギー基本計画の案における将来のエネルギー構成についての資源エネルギー庁の考え
- (6) 行政機関における、総合工学として原子力を見ることが出来る人材の必要性
  - ア 原子力規制庁、資源エネルギー庁において総合的に原子力を見ることが出来る幹部職員の人数
  - イ 総合工学としての原子力に取り組んだ人材を育成する必要性に対する浅尾環境大臣の見解

**仙田晃宏君（国民）**

- (1) 小中学校の体育館へのエアコン設置
  - ア 避難所に指定されることも踏まえた設置の必要性と今後の課題についての浅尾環境大臣の認識
  - イ 文部科学省が把握しているエアコン設置に使える補助金の種類
  - ウ 文部科学省がエアコン設置に使える各種補助金の情報一元化を行い、自治体に公開する必要性
- (2) P F A S 問題
  - ア 暫定目標値の水道水を摂取し続けた場合の危険性及び体内への蓄積の状況
  - イ 環境省は科学的根拠のある情報発信をすべきとの意見に対する同省の見解
  - ウ 水道施設整備費に関する自治体等への財政支援について P F A S 関連の場合には要件緩和をすべきとの意見に対する国土交通省の見解
  - エ 血液検査に対して財政支援を行うことについての環境省の見解
  - オ 水質検査を行うための検査機器の価格
  - カ 水質検査を義務付ける場合は検査機器に要する費用を国が支援すべきとの意見に対する浅尾環境大臣の見解

**福重隆浩君（公明）**

- (1) 我が国におけるバイオエコノミー分野の拡大に向けた具体的な取組及び地球環境問題に立ち向かう浅尾環境大臣の決意
- (2) 循環経済
  - ア 現在取りまとめ中の循環経済に関する政策パッケージの概要
  - イ 森林資源の有効活用を推進する必要性
  - ウ 太陽光パネルや紙おむつのリサイクルに係る技術開発や設備投資を国が支援する必要性
  - エ ペットボトルキャップのリサイクル促進に向けた先進事業の横展開や国民の意識改革の必要性

**北野裕子君（参政）**

電力料金の高騰

- ア 東日本大震災（2011年）以降の電気料金上昇の主な要因
- イ 我が国の2030年及び2050年の温室効果ガス排出削減目標を達成した場合に想定される電気料金の水準
- ウ 我が国が2050年にCO<sub>2</sub>排出ゼロを達成した場合に想定される世界平均気温の低下幅
- エ 電気料金を安価にする目標設定及び過度なCO<sub>2</sub>削減計画への歯止めの必要性に対する浅尾環境大臣の見解

**竹上裕子君（保守）**

- (1) ライフサイクル全体におけるCO<sub>2</sub>排出量の観点から、各種電気自動車への補助金廃止へ向けた再検討の必要性
- (2) 太陽光発電
  - ア 平成23年3月25日の国土交通省通達及びその後の政府による太陽光発電促進が太陽光発電所の乱開発の要因であるとの意見に対する浅尾環境大臣の見解
  - イ 住民の生活環境を無視した太陽光発電所の乱開発防止及び住環境と自然環境の保全に向けた方策についての浅尾環境大臣の見解

- ウ 発電事業終了後に放置された太陽光パネルの把握状況及び使用済み太陽光パネルの処理方針
- エ 事業者による不十分な住民説明や杜撰な設置管理に係る実態及び地域住民と外国資本事業者とのトラブル実態の把握状況
- オ 経済安全保障の観点から、エネルギー分野への外国資本参入を禁止する法整備の検討の必要性についての経済産業省の見解

中村はやと君（無）

太陽光発電

- ア 固定価格買い取り期間終了以降における既存の再生可能エネルギー設備の継続的かつ有効利用に向けた国による支援の必要性
- イ 使用済み太陽光パネルのリサイクルに関する制度的・技術的課題への取組についての浅尾環境大臣の見解
- ウ ペロブスカイト太陽電池
  - a 国策産業としての育成に向けた国の方針に関する資源エネルギー庁の見解
  - b 社会実装に向けた浅尾環境大臣の決意